

# がん治療の今

■■■24

## 小さな傷で済む

肺がんは、国内のがん死亡者数が、最も多い病気です。治療は、がんの三大療法「外科(手術)療法・化学療法・放射線療法」が基本です。がんが早期で、リンパ節などへの転移が無ければ、手術で約70〜80%を治すことができます。

内視鏡から映し出されるモニター画面を見て、専用の細い手術器具を挿入して行う手術です。この術式のメリットは、手術での傷が小さく済むため、術後の疼痛が軽く、回復も早い。入院期間が短縮できることです。

肺がんの手術では、ど

## 肺がん外科的治療編

とができます。

片側の肺の約3分の1を切除する肺葉切除が標準手術となります。従来から行われている開胸手術では、肋骨と筋肉を切り、目で直接見て、手を入れて触れる手術です。これに対して、胸腔鏡下手術は、身体に挿入した「胸腔鏡」と呼ばれる



はせ・りゅうのすけ 1998年(平成10年)旭川医科大学卒業。医学博士。外科学会専門医。呼吸器外科専門医。がん治療認定医。43歳。

# 利点が多い胸腔鏡手術

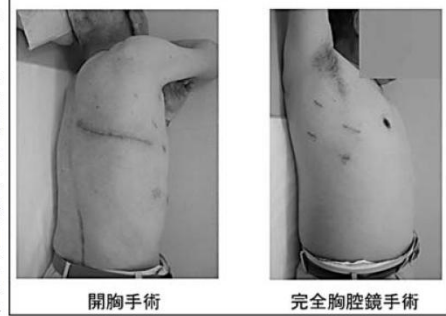
うしても肺の一部を切り取るため、肺活量などの呼吸機能が、術前と比べて悪くなります。胸腔鏡手術では、開胸手術よりの呼吸に関わる筋肉の損傷が少なく、機能低下も軽

た、手技の難易度が高くなる。ただ、手技の難易度が高くなる。ただ、手技の難易度が高くなる。ただ、手技の難易度が高くなる。



肺がんの「完全胸腔鏡手術」の様子。モニター画像を見ながら進めている(製鉄記念室蘭病院提供)

## 手術の傷



開胸手術

完全胸腔鏡手術

ついでに、モニター画面を直視して手術を行う「胸腔鏡手術」が一般的に直視と比較すると、20倍ほど拡大できる。胸の傷から胸腔内を直視して手術を行う「胸腔鏡手術」が一般的に直視と比較すると、20倍ほど拡大できる。胸の傷から胸腔内を直視して手術を行う「胸腔鏡手術」が一般的に直視と比較すると、20倍ほど拡大できる。

「開胸手術(左)と完全胸腔鏡手術(右)の傷の違い。完全胸腔鏡手術の傷は小さく済む(製鉄記念室蘭病院提供)」

製鉄記念室蘭病院で、今年4月までは胸腔鏡補助下手術を行っていた。この術式は、傷が大きく、切除される筋肉も多くなるため、呼吸機能に影響が出ます。直視での手術で、胸腔鏡による拡大視野を

製鉄記念室蘭病院で、今年4月までは胸腔鏡補助下手術を行っていた。この術式は、傷が大きく、切除される筋肉も多くなるため、呼吸機能に影響が出ます。直視での手術で、胸腔鏡による拡大視野を

製鉄記念室蘭病院・長谷龍之介呼吸器外科長

私はいま、これからの患者さんの身体に優しい手術を胆振地域で広めていきたいと考えています。